

当館では自主事業開催にあたり、来館されるお客様、出演者をはじめとする全ての関係者が安心してコンサートをお楽しみいただけるよう、以下の3つの観点から新型コロナウイルス感染防止策を行います。

ウイルスを ①持ち込ませない
②うつさせない
③持ち帰らせない

[参照ガイドライン]

公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和2年5月14日)

公益社団法人劇場演出空間技術協会音響部会「舞台での感染を防ぐために ver.1.2β」(2020年6月29日)

国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症に対する感染管理」(2020年6月2日改訂版)

①ウイルスを「持ち込ませない」

実施する措置	理由	内容
入場は事前予約制	人数制限 密集・密接の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名と連絡先を文化会館に登録(万一の際、保健所に情報提供する場合有) ・「新しい生活様式」に沿った感染予防策に、ご理解・ご協力いただける方のみ受付 ・座席選択不可(ソーシャルディスタンスを空けた席に自動配席)
検温・手指消毒の徹底	発熱者の発見	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての関係者に対しサーモカメラ、非接触型体温計による検温と手指消毒を義務付ける ・ご協力が得られない方は入場不可
利用前の施設、機材の消毒	ウイルスの除去	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数が触れやすい場所(客席の肘置き、手すり等)の消毒 ・使用前の機材(マイク等)を消毒
「健康チェックカード」の記入	発熱者・体調不良者の発見 連絡先の入手	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者、出演者、スタッフ等全ての関係者に対し、入場前に「健康チェックカード」を記入していただく

②ウイルスを「うつさせない」

実施する措置	理由	内容
マスク着用の義務付け	飛沫感染対策	・マスクを着用しない方の入場をお断りする
客席の最前列（上演内容により最大4列目まで）は使用不可	飛沫感染対策	・該当する座席を布で覆い、座れない状態にする
スタッフの衛生対策	飛沫感染防止	・マスクを着用 ・手洗い、手指消毒の徹底
感染が疑われる方の隔離	他者との接触の回避	・来場者の中に風邪の症状や、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方が現れた場合、速やかに別室に移動していただき、検温を実施。発熱の症状が見られた場合、速やかにご帰宅いただく ※慢性的な疾患は除く
舞台上の感染対策	接所感染防止	・マスクを付けずに使用したマイクは全交換 ・舞台上での出演者同士のソーシャルディスタンスの確保（演出上難しい場合は客席との距離を十分に確保） ・PA席の設置場所を検討（客席以外に設営、または周辺に非買席確保） ・出演者の舞台出ハケ前後の手指消毒
来場者と接触する演出の禁止	接所感染防止 飛沫感染防止	・声援を煽る、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする、客席に降りるなどの演出を禁止

3 密の防止

実施する措置	理 由	内 容
密閉対策	エアロゾルとして残存するウイルスの除去	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩時全ての客席扉を開放し換気する。 ・ 空調による常時換気
密集対策	飛沫感染防止 接触感染防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客席数制限（2020年9月現在国の基準に沿い定員の50%未満で設定） ・ 喫煙所・楽屋の閉鎖、または人数制限（部屋床面積÷3.14） ・ 前後左右に間隔を空けた配席 ・ 開場時間・休憩時間の延長 ・ 必要最低限の人数のスタッフで対応 ・ 行列が発生し得る場所（受付、トイレ、サーモカメラ前）には間隔を空けた整列を促す表示を設置
密接対策	飛沫感染防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場内での近接した距離での会話、大声での会話の禁止

③ウイルスを「持ち帰らせない」

実施する措置	理 由	内 容
出口での手指消毒	ウイルスの除去	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出口での手指消毒を義務付ける
うがい・手洗いの励行	ウイルスの除去	<ul style="list-style-type: none"> ・ アナウンス、場内表示にて帰宅後のうがい・手洗いを励行
使用後の機材の消毒	ウイルスの除去	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用後の機材を消毒